				令和6年(2024	4年)度年間授	業計画表			
学年		3	年	学科	生物生	 上産科	必選	選択	
教科		農	業	科目	野	<del></del> 菜	単位	2 単位	
使	用教材		野菜(実教出版)						
温室(土耕・水耕)と野菜圃場を学習の場として、一貫した野菜栽培の実践								銭と経営技術	
学	習目標	につて	つて学ぶ。また、立地条件に適合した野菜栽培に必要な基礎的・基本的な知識と技術を						
		習得さ	せるととも	に、積極的に新		造する能力と	態度を育てる	00	
単元と内容									
1 学 期	野菜の育苗 ②育苗管理(果菜類) 野菜の生育特性と栽培技術 ②春・夏野菜の栽培管理 ②収穫・調整・販売の実習 (露地栽培・施設栽培)					○苗管理が適切に、意欲的にできたか。			
				•		○野菜栽培と育苗の重要性について理解できたか。 			
				•		○野菜生産と育苗、野菜の品質について説明できるか。			
				○野菜生産	○野菜生産と育苗の基本的な知識が身についたか。				
					○圃場の野	  ○圃場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組んだか。			
	野菜の栽培と環境管理 ◎葉菜類の管理 ◎果菜類の収穫 ◎秋野菜の栽培、ほ場整備					○栽培の基本的な知識・技術が理解できたか。			
2						○収穫・調整の仕方、販売方法など説明できるか。			
学期	◎秋野菜の栽培、は場金偏 ◎秋野菜の栽培管理 ◎収穫物の調整と販売 ◎施設栽培の管理と収穫				○栽培の基本的な知識・技術が理解できたか。				
州					A STATE OF THE STA				
		W-1 47 11 -1							
	これからの野菜経営				○基本的な	○基本的な知識・技術を理解できたか。			
3					○温室・圃	○温室・圃場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組んだか。			
学期	◎野菜生産の経営的特徴 ◎施設管理·整備								
,,,									
					評	価			
評価の観点					評価の制	評価の趣旨			
I				菜の経営について、体系的に理解する。 産性と品質の向上を図るために、栽培技術の習得に努める。					
П	思考·判	・判断・表現 生産と経営に関する課題について意見を述べ、改善策を指導者と共に話し合う ことで深めている。							
Ш		上体的に学習に 生産技術と経営について関心を持ち、経営を発展させるために品質の向上へ取り組む態度 取り組むことができる。							
	観点I			観点Ⅱ		観』	点皿	年間時数	
	記述の確認(ノート) 定期考査							予定	
評価方				行動の記録 (改善点を見出す意見を評価)		行動の観察 記述の点検	54 時間		
法	ロ頭試問による確認(実技 試験)		実施						
	置賜農業 育てる能力			)自己肯定感 ③	_				